

1 生田緑地ばら苑の概要

小田急電鉄(株)が、昭和33年5月23日に小田急線開業30周年を記念して向ヶ丘遊園内野球場を当時、関東一のばら園「小田急向ヶ丘ばら苑」(5,000坪(16,500㎡))として整備しました。当時のパンフレットによれば、「造苑美のばら苑」、「水の豊富なばら苑」、「世界各地のばら10,000本」などが特徴だったようです。また、開園直後に、秩父宮妃殿下、開苑1周年にも高松宮妃殿下と皇室の方にも来苑いただいた由緒ある庭園です。

平成14年3月31日の小田急向ヶ丘遊園の閉園に伴い、**生田緑地の一部として市が小田急電鉄からばら苑を引継ぎ、「生田緑地ばら苑」として、開花状況に合わせて春、秋に開苑**しています。

生田緑地ばら苑の現在の資源と魅力

(1) 市民協働

小田急向ヶ丘ばら苑は、向ヶ丘遊園地閉園時に、ばら苑等を愛する市民の声等に応える形で市に寄附されました。また、現在の**ばら苑の維持管理運営は、ボランティア(R5登録者数170人)に支えられており、永年活動されているボランティアも多い。**



(2) 秘密の花園・観光拠点

ばら苑は、市街地から40m上がった丘陵地に位置し、周囲を樹林地に囲われていることから、「**天空の秘密の花園**」として、年間約**7万6千人(R4・35日間)**が市内外から来園している。開園期間中は、**テレビ等によりばらの開花状況が全国に発信され、観光地として賑わっている。**



(3) 彩る

春の開園時には、パーゴラを彩るつるバラ、各国の要人とゆかりのあるバラを集めたロイヤルコーナーなど**800種3,300株(秋は、620種2,900株)**のばらが咲き誇り、**生田緑地のみどりを彩っている。各国の要人とゆかりのあるばらをきっかけに大使の視察等も受け入れている。**



(4) 歴史・文化

昭和33年の設計時に意図された、**周囲の緑に囲まれた風景と大パーゴラやクラブハウスなどの人工美を加えた「造苑美のばら苑」が継承**されている。



(5) 回遊性・地域連携

ばら苑開苑時は、**生田緑地中央地区と回遊する利用者が増加し、生田緑地の利用者増につながっている。**また、開園時には、地元の学校等と連携したイベント等も実施している



2 生田緑地ばら苑が直面する課題

生田緑地ばら苑は、開苑から65年経過し、**ばらの感染症対策、施設の老朽化、魅力づくり等の課題に直面**している。また、**市民ボランティアとの協働により管理してきた取組の持続性の確保**や本苑の位置する**生田緑地東地区内の他の事業との調整等が必要**となっています。

(1) ばらの感染症

古い希少種のモダンローズや各国の要人にゆかりのあるバラなど多種多様なバラ(春800種3,300株,秋620種2900株)を有するが、多くのばらが**根頭(こんとう)がんしゅ病**※に感染しており、根本的な解決に向けて**大規模なばらの植替えや土壌の入れ替えが必要**となっている。



※根にコブが発生する病気で、防除方法は確立されていない。急速に枯れることはないが、患部が肥大すると樹勢が衰える。

(2) 施設の老朽化

本苑は開設から65年経過し、修景施設(水系施設は既に廃止)、園路、トイレ、レストハウスなど**全ての施設が老朽化し、インクルーシブ施設としての取組への対応や多様なニーズに応えるためには、大規模な改修が必要**となっている。

(3) 魅力づくり

「旧向ヶ丘ばら苑」は、東洋一のばら苑として開園・供用されていたが、小田急向ヶ丘遊園閉園後は、市が引き継ぎ「生田緑地ばら苑」として維持しているが、**バラの品種、株数の状況や維持管理水準の向上、老朽化等に伴う水系施設の廃止、開園期間が限定されている、適切な管理体制の検討も含め、魅力づくりに向けた検討が必要**となっている。

(4) 協働の取組の持続性の確保

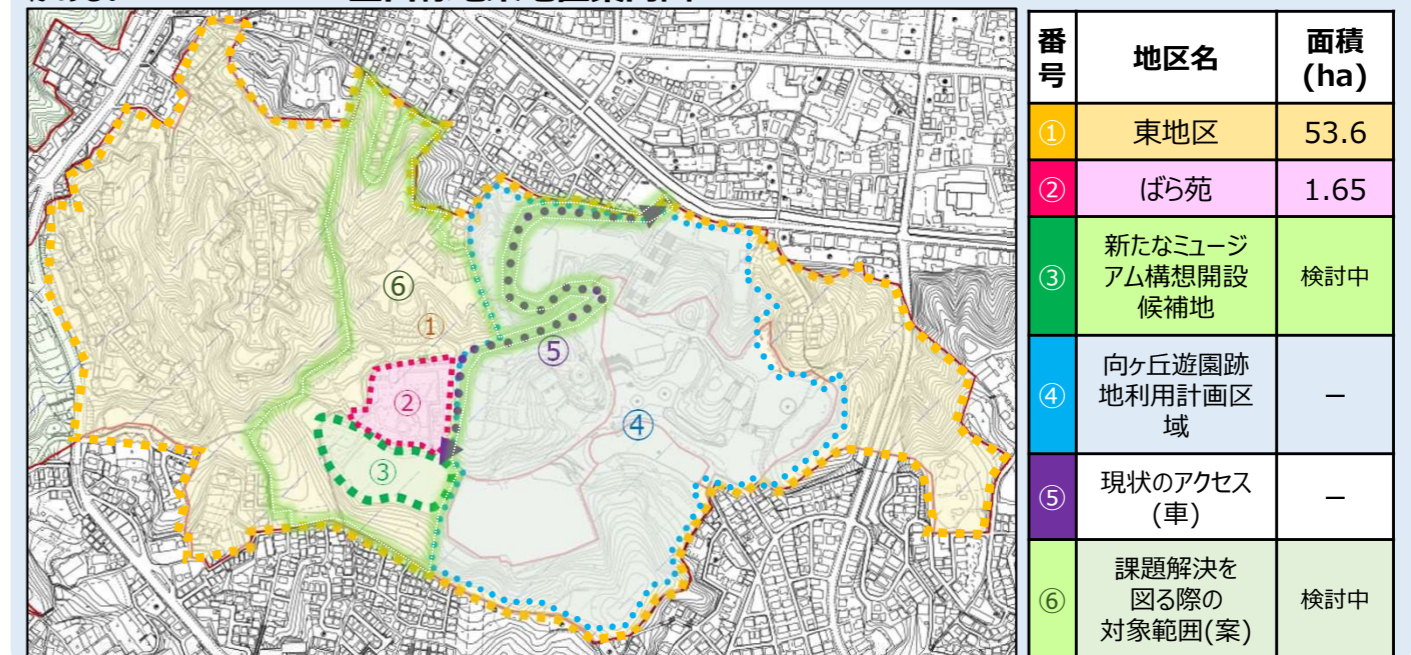
小田急から市が引き継ぎ、市民ボランティアの協力を得ながら維持管理運営しているが、高齢化や担い手不足といった持続的な**協働の取組に関わる対応が必要**となっている。

(5) アクセス路の確保

主動線は、旧向ヶ丘遊園跡地(小田急電鉄(株)の協力)に依存しており、**跡地利用計画との調整・整合が必要**。また、現状は、**アクセス路の安全確保や送迎等の費用が当苑の管理委託費の約1/3を占めている。**

(6) 生田緑地東地区内の他の事業との調整

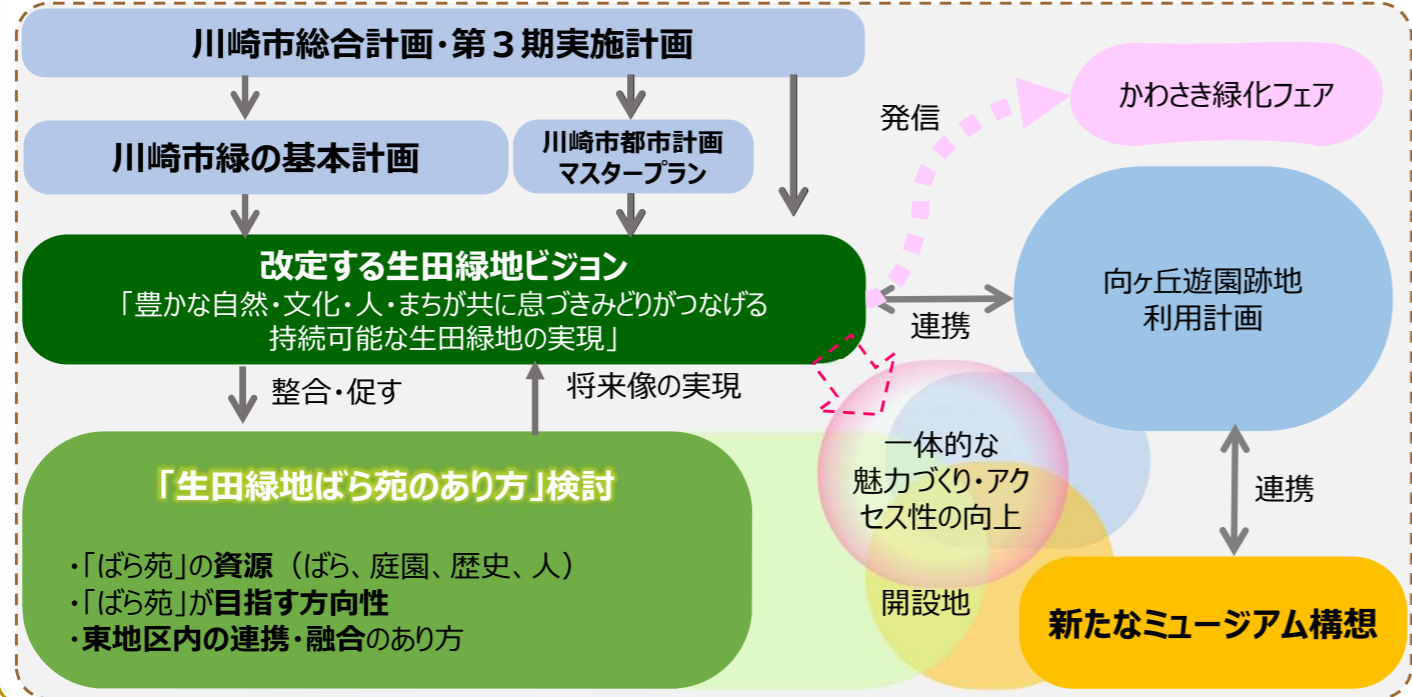
生田緑地東地区内において、**検討が進んでいる新たなミュージアム構想、向ヶ丘遊園跡地利用計画といった他の事業との調整が必要**となっている。また、課題解決を図る際には、ばら苑周辺区域も含め検討する必要がある。



3 生田緑地ばら苑のあり方検討の目的

本検討については、生田緑地ばら苑が有する資源・魅力の向上と直面する課題解決に向けた考え方を整理することを目的とする。なお、本あり方において、生田緑地東地区内で別途検討が進む事業等との連携・調整を図り、改定を進めている生田緑地ビジョンに示す将来像の実現を目指すこととする。

改定する生田緑地ビジョン等との関係イメージ(ばら苑関係を抜粋)



(2) 新たな「ばら苑」が目指す方向性(案)

今後の生田緑地ばら苑は、これまでの歴史を踏まえた資源を最大限活用するとともに、誰もが親しみを感じ、魅力ある施設の実現に向けて各種課題を踏まえ、「誰もが好きなばら苑」、「インクルーシブばら苑」など5つの方向性(案)により再整備を検討します。

今後の「ばら苑」が目指す5つの方向性(案)

継承すべき・したい資源

- 好き** **誰もが「好き」なばら苑**
訪れた人々が、様々な形でばらを好きになるばら苑(ばらが好き、ばらを育てることが好き、植物が好き、庭園が好き、空間が好きなど)
- インクルーシブ** **「インクルーシブ」ばら苑**
誰もが親しみ、憩え、楽しめるばら苑
- 彩る** **場所、人、生活を「彩る」ばら苑**
生田緑地を「彩る」、訪れた人の心を「彩る」、来園後の生活を「彩る」ような維持管理運営を目指す
- 歴史・文化** **生田緑地東地区の「歴史・文化」拠点**
旧向ヶ丘遊園から引き継ぐ「歴史」あるばら苑を、本市唯一の本格的な「ばら苑(庭園)」として、庭園「文化」の拠点として再生する
- サステイナブル** **「サステイナブル」ばら苑**
維持管理運営の持続性、持続的な協働の取組、資源循環を考慮した取組、生物多様性に配慮した維持管理等

各種課題等の解決

4 生田緑地ばら苑のあり方イメージ

本検討は、ばら苑が有する資源・魅力の向上と直面する課題解決に向けて、「継承すべき・したいばら苑」の資源を整理し、今後のばら苑が目指すべき方向性を共有することを目的とする。また、あるべきばら苑の実現に向けて、生田緑地東地区内における連携・融合に向けた論点を整理することを目的とする。

(1) 「継承すべき・したい資源」

今後も継承すべきばら苑の資源を「ばら」「庭園」「協働」として、整理することを想定している。

ばら **歴史を重ねたバラのコレクション**
苑内には、古の銘花から最新品種まで、作出年代に偏りなく、800品種、約3,200株のばらを育成・管理している。
(モダンローズ(ハイブリッドティー(HT) 340種, フロリバンダ(FL) 137種, シュラブ(S) 85種, クライミング系(CL) 90種, グランドフローラ(Gr) 10種, ミニチュア(Min) 32種, ポリアンサ(Pol) 2種)、オールドローズ 80種、野生種 13種等)

↑【Paul's Himalayan Musk Rambler】オールドローズ 1916年
↑【Jean Giono】HT 1996年
↑【Bridal Tiara】→ FL 2009年
↑【Pink Spray】S 1980年 ↑【Cl. Roseurara】CL 2013年

庭園 **市民に親しまれ、愛された作庭のコンセプト**
緑に囲まれた丘陵地内において、大パーゴラやクラブハウスなどの人工美を加えた「造苑美のばら苑」として親しまれてきた。

協働 **市民に愛されるばら苑**
小田急向ヶ丘ばら苑として人々に愛されたばら苑は、存続の危機を乗り越え、現在は、生田緑地ばら苑として、ばらを愛する市民との協働により維持管理している。

(例えば)「魅力が溢れ、誰もが好きになる」ばら苑の実現

(3) 生田緑地東地区における連携・融合の考え方(案)

(東地区の魅力の最大化)
・生田緑地東地区については、ばら苑の再整備、新たなミュージアム構想、向ヶ丘遊園跡地利用計画が、それぞれ進捗しており、各計画が「連携・融合」を図ることで、東地区の魅力の最大化を目指す必要がある。

(アクセス路の確保)
・ばら苑のアクセス路については、市の所有地のみでは、解決が困難であり、東地区内の動線計画と一体で考える必要がある。

(施設運営の諸条件の整理)
・ばら苑の開園期間・時間等の前提条件の調整、運営体制等についても横断的に検討し、「連携・融合」を目指す必要がある。

5 スケジュール(案)

本検討については、今後、ばらや造園の有識者へのヒアリング、既存ボランティアへの意見交換、開苑期間中のトークイベント等を実施しながら、新たなばら苑づくりに向けた意見聴取や機運醸成を図り、令和6年4月の策定に向けて検討を進めてまいります。

- 令和5年 7月 生田緑地ばら苑ボランティアとの意見交換、有識者ヒアリング
- 10月 生田緑地ばら苑秋の開園に合わせたトークイベントの実施
- 令和6年 2月 生田緑地ビジョン改定に合わせたパブリックコメントの実施
- 4月 「生田緑地ばら苑のあり方」策定
- 5月～本あり方に基づいた整備内容の検討等